



第33号

発行
琉球大学医学部
医学科後援会
会長 中石 直木

沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
電話：(098) 895-3331
(内線 2136)

印刷：新栄印刷
那覇市古波蔵1丁目32番8号
電話：(098) 855-1354



会長挨拶

琉球大学医学部医学科後援会会長 中石 直木

春の陽差し、新緑のクロロフィルがあふれる香り、強烈な熱光線と凶太い紫外線の交錯、蓄積そして、落ち着きと安らぎを漂わせる短い秋を経て、体感温度だけは低い冬：日本列島最南端の国立大学を擁する島の四季がいつもどおりに始まりました。

一方で、琉球大学医学部構内には、季節、時空を超えた「ガジユマル」群が、泰然自若の様相を呈しております。

凄まじく、厳しい受験生活はもとより、得体の知れないウイルスとの戦いを余儀なくされても一歩も怯むことなく、琉球大学医学部医学科への道を切り拓き、全国各地からご参集頂きました学生、保護者及び関係者の皆様に対し、敬意の念を表すとともに、心より歓迎いたします。そして、ご入学誠におめでとございます。

さて、本医学科後援会は、医療分野への道を目指す学生の支援を始め、学科全体の教育振興を助成するとともに、その向上発展に寄与することを目的として、昭和57年10月に設立されました。琉球大学はもちろん、他のいかなる団体へも属しない任意の団体として、ひとえに先述の目的を掲げて本会スタートに踏み切った先人たちの労苦を慮ることは容易ではありません。

しかしながら、会設立の主旨を理解し、会員として、その意志を引き継いでいくこと、全会員が「学生ファースト」の意を同じくし、一丸となって共同体制を構築していくことは、不可能ではないはずで

「なんくるないさ！」という沖縄の有名な、いにしえより使われる言葉があります。これは、「どうにかなるさ！」という他力本願的な、ネガティブ的発想の言葉ではありません。本来は、「まくとうそうけえなんくるないさ！」(日頃から何事にも誠意を持って取り組んでいれば、必ず道は開ける！)という意味

合いを持っております。終わりの見えない紛争、閉塞感のある混沌とした社会情勢の中にあっても：

これから先、パンデミックレベル化が想定されるウイルスとの戦いを始めとして、不治の病などで苦しんでいる方々を救済するために、医療分野への期待は多大なものがあります。

明日の医療人を目指して本学に集った医学科学生は、いにしえのことばを再度、引用するなら「いちやりばちようでー(出会った者は皆兄弟)」です。

今後も学生同士、兄弟のような心情を持って交流、協力を絶やさずに「なんくるないさ！」の精神で取り組んでいけば、厳しい局面も必ず乗り越え、目標を達成することができると確信しています。たとえ一人の学生でも決して孤立してはなりません。孤立させてはなりません。そのためにも、後援会の存在意義があると考えます。

末尾となりましたが、今回、痛恨の極みに尽きる出来事として、本会事務職員による会費横領事件が発生しました。

われわれ後援会は今事案を受け、学生の勉強、教育活動において、決して支障を来すことのないように真摯に会の運営管理に尽力し、今後も引き続き学生、保護者及び関係者からも信頼されるよう後援会体制の立て直しを図っていく所存であります。

そして、全国からここに集う若者(学生)同士の切磋琢磨ならびに人間性の向上を目指す上でしっかりと寄り添い、学生及び保護者の発展に少なからず寄与できる後援会づくりを希求して参ります。

皆様がこれまで培った識見と良識ある裁量を範とするともに、本会へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。次第です。今後ともよろしくお願いたします。



新入生の保護者の皆様、ご子息・ご息女の琉球大学医学部医学科へのご入学、誠にありがとうございます。

そして、在校生の保護者の皆様、今年度も宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、5月8日からようやく季節性インフルエンザと同じ感染法上の5類に移行し、法律に基づいた外出自粛などの要請はなくなりましたが、これまでの3年余りは日常生活に行動制限がありました。そのような中で、ご子息・ご息女の受験勉強を支えてこられた保護者の皆様には、大変なご苦労があったことと推察いたします。保護者の皆様の献身的なご苦労に対し、心より敬意を表します。

さて、私からは、①医師国家試験の成績、②進級、③琉球大学医学部と病院の移転の3点についてお話しさせていただきます。

まず最初に、医師国家試験の成績についてお話しします。今年、新卒は、126名が受験して不合格者は3名で、合格率は97%でした。合格率は、全国82大学中20位で、九州の国公立大学ではトップの成績でした。

また、既卒は、10名が受験して不合格者は3名で、合格率は70%となり、既卒も良い成績でした。本医学科の医師国家試験の成績は、10年ほど前までは全国最下位レベルでしたが、最近では常に良い成績を上げることができています。この結果は、教育に対する教職員の長年の取組みの成果であると自負しています。

次に、進級についてお話しします。医学科は進級が大変です。昨年度留年した学生の数は、1年次は14名、2年次は12名、3年次は1名、4年次5名、5年次5名、6年次5名でした。1年次と2年次で合計26名が留年しました。

さらに、今年度から、4年次の時に行われている臨床実習前のCBTとOSCEの試験が、医師国家試験の受験資格要件になりました。このことを「共用試験の公的化」と呼びます。6年次の時に行われている臨床実習後のOSCEも、数年後には、医師国家試験の受験資格要件になる予定です。つまり、医師国家試験が、4年次の一次試験、6年次の二次試験、そして従来の医師国家試験の三次試験の3部構成になる予定です。医師になるのはますます大変になりますので、ご子息・ご息女には、しっかりと勉強するように、ご指導をお願いいたします。

3つ目に、琉球大学医学部と病院の移転についてお話しします。琉球大学病院は2025年1月に、琉球大学医学部は2025年4月に、ここから約5km離れた宜野湾市西普天間地区に移転する予定です。この移転事業は国家プロジェクトとして進められています。移転先は、もと米軍の住宅地だったところで、高台にあり、東シナ海が見渡せる素晴らしい立地です。学生は、約2年後に新しいキャンパスで講義や実習を受けることが出来ますので、楽しみにしていたきたいと思います。

最後になりますが、ご子息、ご息女が、有意義で充実した大学生活を送られることを心よりお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



令和5年度琉球大学医学部医学科に入学されました新入生の皆様、ご父兄の皆様、おめでとうございます。琉球大学病院長の大屋です。

医療関係のご父兄もおられると思います。が、病院長としてのご挨拶となりますので、僭越ですが、この場では我が国の医療において、とくに話題となっていることを3つご紹介したいと思います。

1つ目は、医療安全の推進です。安全で安心な医療を目指すことは重要です。医療のあらゆる過程で安全が最優先される仕組みを構築することが医療機関に求められています。

また、特定機能病院で行われている高度な医療技術や新しい医療の開発においても、まずは安全性を担保して行うような体制整備が必要となっています。琉球大学病院も例外ではなく、これまで着実に医療安全の体制を整備してきました。しかし、「人間は誰でも間違える (To err is human)」という言葉があります。完璧を目指していても、ある一定の確率でエラーが起こるのは避けがたいという事実の中で、その確率を下げることが、仮に何かのエラーが起こっても、その連鎖を断ち切る、または、別の安全弁でエラーがより危険な状態へ向かうことを防ぐ、などのように、多重の構えの安全確保のシステムを構築することが必要とされています。個人だけではなく、システムとして、組織として、安全性を確保していくという考え方です。このような医療安全の

推進を行うには、医療者が基本的な医学知識や技能を獲得することはもちろんのことですが、加えて、コミュニケーションスキルやチームワークを行う力が必要になります。琉球大学では1年次のときから医療安全に関連した学修を提供しています。

また、このような学びをサポートする施設として、琉球大学には「日本一」とされる「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」があります。ここでは、医療現場を模擬状態として再現することで、より効果的に知識や技能の獲得ができるだけではなく、前述したコミュニケーションやチームワークについても学ぶことができます。最先端の施設ですので、機会がありましたら、ぜひ一度見学してみてください。

2つ目は、医師の働き方改革です。国民の医療に対する期待と、従来からの医師の責任の強さから、近年、医師の過重労働の状況はさらに悪化しています。厚労省で対策が考えられてきましたが、医師の絶対数が不足した状況で、国民にとってアクセスしやすい医療システムを保持しないといけないというジレンマの中、抜本的な改善策を作ることが難しい状況でした。

しかし、いよいよ新しい医師の労働基準も公表され、これからは医療機関が責任を持って、医療者が健康を保持しながら、意欲を持って仕事に打ち込み、そして自身を成長させることができる労働環境を作らなければいけません。今年度入学された新入生の皆さんが働く頃には状況は改善していると思いますが、学生の段階から、医師としての基本を大事にしながらも、多様な働き方を考えることやDXを取り入れた新しい働き方を身につけなくてはなりません。3つ目は、医師不足、地域偏在、診療科

偏在の問題です。医師数については、最近の医学部の定員増により、全国的にはほぼ充足できる数になってきました。

一方、地域偏在と診療科偏在は、まだまだ改善にはほど遠い状況です。自治医科大学や各大学に作られた地域枠は地域偏在対策の1つです。すでに琉球大学の地域枠卒業生たちが沖縄の各地で活躍しています。琉球大学の教育方針では、地域枠の医学生に限らず、すべての医学生に、地域で働くことの楽しさや学びの深さを積極的に学んでもらうことにしています。地域医療を学ぶことは、医療の基本・原点を守ることであり、医師としてのプロフェッショナルリズムを育てることに最も近いと考えています。さらに、卒業後も、沖縄県内で複数の病院をローテーションしながら学ぶという、沖縄全体が実質的に一つの研修機関となるような、都市地区に負けない教育研修体制を沖縄県や県内の病院と相談しています。地域で学び、地域で働くことが特別なことでなく、その上で大学や大学病院などで専門性を高める、機会があれば研究を行う、そして地域に戻ってそれらを地域に還元するといった有機的な連携を積極的に作っていきたいと思います。

以上、現在の医療の問題点と沖縄における研究体制改善にむけた取り組みの一部をご紹介します。ご入学される新入生や在学生には、そのような状況があることを理解していただきつつも、まずは学び、友人を作り、さまざまな社会経験を通して、自分を磨いていただくことが第一歩と考えています。楽しく充実した学生生活ができるよう、私どもががんばってまいります。引き続きご父兄・家族からのサポートをお願いして、私からの挨拶とさせていただきます。



教務委員長
ウイルス学講座
大野 真治



新入生並びにご父母の皆様、この度は琉球大学医学部医学科へのご入学誠におめでとうございます。

また、後援会の皆様には日頃より多大なご支援を賜り、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、昨年度までは遠隔講義を余儀なくされておりましたが、本年度からは以前の対面講義を再開しております。これをきっかけに、学生同士の縦・横の交流が深まっていくことを願っております。この場をお借りして、琉球大学の医学教育をとりまく変化について紹介させていただきます。

1. 医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂

日本の医学教育は、医学教育モデル・コア・カリキュラム（以降、「コアカリ」と記述）を中心に、各大学独自の科目を加えつつ行うこととなっております。その基盤となるコアカリが令和4年度に大幅に改訂されました。これまでと本質的な部分は同じなのですが、地域に根差した医療や遠隔診療など時代に合わせた変更が加えられています。また、学修内容も大幅に増加しています。各大学のカリキュラムへの反映は令和6年度からとされていますので、来年度からの変更に向けて諸事進めているところです。

2. 医学科内のコース分け

令和5年度の新1年次から、一般コースと地域医療コースを設けることになりました。一般コースは一般選抜及び第2年次特別編入学選抜で、地域医療コースは学校推薦型選抜Ⅱで入学した学生が振り分けられます。両コースは基本的に同じカリキュラムで進むのですが、一部の科目内容が異なります。地域医療コースでは、低学年次から地域医療が必要となります。また、一般コースは学生が主体的に学ぶアクティブラーニング科目を充実させていく予定です。

3. 医師国家試験出題基準の改訂

令和5年3月に医師国家試験出題基準の改訂版が公開されました。コアカリとは異なり、こちらには大きな変更点はありません。令和6年（118回）から適用されますので、現6年次は本基準に依った試験を受験することになります。本年度受験の皆さんが全員合格することを願っています。

4. 分野別認証評価

平成29（2017）年に受審した外部評価により、本医学科の教育は国際水準に到達しているという評価をいただきました。この外部評価は7年ごとに受審することになっており、来年（2024）年後半に2回目の受審となります。コロナ禍もあり、前回受審で要改善の指摘を受けた点への対応が遅れている部分もあります。また、2025年1月には病院の、

4月には医学部の移転を控えており、大変な時期の受審となりますが、再び国際水準であるとの認定となるように対応を進めております。

そのほか、臨床実習についても、コロナ禍以前の状態に近づいてきています。臨床実習は医師養成の上で避けて通ることのできない学修科目ですので、病気を抱える患者さんや医療スタッフとのやりとりを通して医師としての態度・技量を身につけてもらいたいと思っております。また、海外からの臨床実習学生の受け入れ、海外提携大学への臨床実習生の派遣も可能となりました。加えて、3年次の医科学研究でも県外・海外の研究室への派遣も可能な状況となりました。様々な人々との交流や体験を通して人間として成長していただきたいと思います。

学生への大きな負担とならないようカリキュラム改善に努めておりますが、医学の進歩、新しい感染症への対策及び高齢化社会など、様々な要因により医学生に求められる学修内容は増加の一途となっております。このような状況下で、改訂されたコアカリも内容が大幅に増加しており、学生にとってはどうしても厳しいカリキュラムとならざるを得ません。しかし、本医学科に入学された皆さんは、これらをきちんと修得できるものと確信しております。皆様のご子息、ご息女の学生生活が実り多きものになることを願っております。



令和5年度琉球大学医学部医学科、新一年次及び学士編入生の皆様、並びに保護者等の皆様、この度はご入学大変おめでとうございます。学生生活委員長を拝命しております。法医学講座の二宮賢司と申します。私も平成20年に琉球大学を卒業した身で、卒業後約15年ということになります。同窓生としても皆様を歓迎いたします。

これまでの日常生活は新型コロナウイルスの大きな影響下にあったものと思いますが、ようやく多少は落ち着いてと言える状況になりました。その点でも、これまでの高校生活とは大きく異なる生活が始まることとなります。6年間は長いですが、皆様の琉大での日々が充実したものになるよう、学生生活委員会がサポートいたします。今回は、当委員会について、紙面をお借りして紹介をさせていただきます。その任務は一言で申しますと、学生が安心して勉学に励む学修環境を提供することです。具体的には主に以下の6つの事項が挙げられます。

1. 保険管理に関すること

学内での不慮の災害・事故などに対する学生保険への加入案内や、実習前のワクチン接種などが挙げられます。この費用については後援会からも一部援助をいただいております。

2. 課外活動に関すること

医学部には約30の体育系あるいは文化系サークルがあります。これらの通常の活動に対しては勿論、医学部には九州山口地区や西日本地区の体育大会があり、この運営に対しても後援会からは多くの援助をいただいております。

ここ数年は満足に大会を開催できる状況ではありませんでしたが、今年度以降は概ね以前通り実施されるものと期待しております。

3. 奨学金などに関すること

琉大には奨学金や授業料免除などの制度が複数あります。これらの制度を有効に活用し、必要に応じ支援を受け有意義な学生生活にして欲しいと思います。詳細は上原キャンパス事務部学務課の学生支援係にお気軽にお問い合わせください。

また、奨学金受給者や授業料免除者の決定にはしばしば成績が関与しますので、保護者等の皆様には学業成績にも関心を持って見守っていただければ幸いです。

4. 福利厚生に関すること

福利厚生施設については、限られた予算内で行えるだけの対応をするように努めております。

5. 表彰及び懲罰に関すること

表彰については、卒業時の医学科総代の決定、優秀サークルの表彰推薦などを担当しています。懲罰については将来に大きな禍根を残す可能性がありますので、保護者等の皆様にも是非知っておいて欲しいと思います。特に医師国家試験との関係で問題になるのは罰金以上の刑罰で

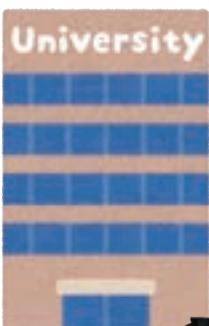
す。代表的なものに酒気帯び運転、速度違反などの交通違反があります。

例えば、交通裁判所で罰金刑、いわゆる赤切符を受けるなどした場合、退学を含めた処罰が下る可能性があるとともに、医師免許証発行が遅れる場合もあります。

6. その他相談に関すること

6年間の学生生活の間、大半の学生が大なり小なりトラブルを抱えることになっていしょう。大学には指導教員制度があり、医学科では、教員が各々学生10名程度を担当しています。教員に相談するのが適切と思われる事柄は勿論、誰に相談すればよいか分からない様な事柄も、必要とあらば指導教員にご相談ください。当委員会では学生をサポートする体制作りにも努めていますが、保護者等の皆様との連携が重要です。学生の異変を感じた場合には、遠慮なく前述の指導教員へご連絡ください。

以上、学生生活委員会の活動内容をご紹介させていただきました。当委員会の活動には後援会から多大なご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。今後とも会員の皆様の、当委員会の活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。



日時…令和5年4月6日(木) 11時
場所…沖縄コンベンションセンター展示場

琉球大学の入学式が挙行されました。医学科は本年度117名(2年次学士編入学者含む)の新たな入学者を迎えました。





また、オリエンテーション終了後には、各班に分かれて、班長、年次長及び副年次長を選出しました。



オリエンテーションでは、医学科長等の挨拶や1年次の指導教員の紹介等を行いました。

令和5年度新入生
オリエンテーション



令和4年度 医学科学学位記授与式
日時：令和5年3月23日（木）15時～
場所：医学部臨床講義棟2階



令和4年度 卒業式
日時：令和5年3月23日（木）11時～
場所：沖縄コンベンションセンター展示棟

コロナ禍の中、琉球大学の卒業式及び医学科学学位記授与式が無事挙行され、127人が巣立ちました。

令和4年度卒業式及び
医学科学学位記授与式

第117回 医師国家試験合格状況

新卒受験者数	合格者数	合格率 (%)	既卒受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者総数	合格者数	総合計合格率%	全国合格率	
									新卒 (%)	総合 (%)
126	123	97.6	10	7	70.0	136	130	95.6	94.9	91.6

試験日：令和5年2月4日(土)～5日(日)
合格発表：令和5年3月16日(木)
※新卒127名だが1名は未受験のため、新卒受験者数は126名

(参考) 平成30年度～令和3年度卒業生

	新卒受験者数	合格者数	合格率 (%)	既卒受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者総数	合格者数	総合計合格率%	全国合格率	
										新卒 (%)	総合 (%)
第116回	110	103	93.6	6	3	50.0	116	106	91.4	95.0	91.7
第115回	122	117	95.9	11	10	90.9	133	127	95.5	94.4	91.4
第114回	108	100	92.6	9	6	66.7	117	106	90.6	94.9	92.1
第113回	115	109	94.8	14	11	78.6	129	120	93.0	92.4	89.0



就職状況 (令和2年度～令和4年度)

	沖縄県内								沖縄県外								国家試験 不合格者	就職先 不明
	卒業生数		琉球大学病院		公立病院		その他法人等		大学病院等		公立病院		法人		その他法人等			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和4年	74	53	4	5	7	14	22	19	5	4	3	4	3	0	26	7	3	1
	127		9		21		41		9		7		3		33			
令和3年	67	43	3	7	9	8	18	7	3	3	4	5	3	2	19	8	7	4
	110		10		17		25		6		9		5		27			
令和2年	81	41	9	4	11	6	27	13	6	3	3	4	0	0	19	9	5	3
	122		13		17		40		9		7		0		28			
小計	222	137	16	16	27	28	67	39	14	10	10	13	6	2	64	24	15	8
合計	359		32		55		106		24		23		8		88		23	

1. 大学病院等：大学附属病院、附属施設等を含む。 2. 公立病院：県立、市立病院
3. 法人：独立行政法人、国立研究開発法人、地方独立行政法人等 4. その他法人等：3. 以外の法人など

令和5年度 琉球大学医学科後援会定期総会について（ご報告）

令和5年4月6日（木）16時10分～医学部臨床講義棟2階の大講義室にて定期総会を開催しました。

主な審議事項は左記のとおりであり、出席者の過半数の賛成をもって可決されましたのでご報告いたします。

1. 琉球大学医学部医学科後援会会則の一部改正（案）について
2. 令和5年度事業計画及び予算書承認

会員から種々のご意見があり、左記のとおり理事会において検討しました。

(1) 会費を納めた人が会費を納めていない人の支援を負担することについて、後援会としての見解は、会員の皆から意見を聞くためにアンケートをとり、アンケート集計後、理事会で検討してほしい。

(回答) 医学科後援会は医学科在学子弟のために福利厚生面を中心に、課外教育などの面で学部当局と連携をもちながら援助の手をさし延べて行くのが目的で設立された団体です。今回の横領事案によって、納付率が下がり全学生への支援が難しくなるようであれば、今後検討せざるを得ないと思いますが、現時点では支援項目の見直し等により、全学生への支援は可能だと思います。

(2) 納得した上で納入したいため、納めた会費を一旦希望者又は全員に返還してほしい。

(回答) 後援会の運営は、新入生の会費で当該年度の事業を運営しており、途中で会費を返還してしまうと、当該年度

の事業の運営が困難となるため、既納した会費は、返還できないことをご理解ください。

(3) 会費の妥当性を検討する必要がある。(回答) 大学の事業として支援を行うことが困難な事業について、後援会から支援を行うため、9万円は妥当な金額であると思います。令和5年度のCBT・OSCEの受験料が昨年度から8千円（2万5千円から3万3千円）も高くなっており、自己負担額が増えるため、少しでも負担を減らすために後援会から支援を行いたいと考えております。その他の事業も同様に支援ができる事業は積極的に支援を行いたいと考えております。

令和4年度 会務報告

年月日	会議内容	開催場所・時間
令和4年6月20日（月）	第1回 後援会理事会 【議題】 1. 会長の選任	医学部がじゅまる会館 中2階自習室（対面及びWEB） 18時30分～18時42分
令和4年6月20日（月）	第2回 後援会理事会 【議題】 1. 後援会の運営について	医学部がじゅまる会館 中2階自習室（対面及びWEB） 18時45分～21時20分
令和4年7月15日（金） ～7月21日（木）	第3回 後援会理事会 【議題】 1. 令和元年～3年度決算の外部支援について 2. 令和4年度暫定予算について	書面会議（メール）
令和4年12月6日（火）	第4回 後援会理事会 【議題】 1. 後援会の運営について 【報告】 1. 副会長の選任について	医学部がじゅまる会館 1階旧食堂 18時30分～20時57分
令和4年12月27日（火）	第5回 後援会理事会 【議題】 1. 後援会の運営について	医学部がじゅまる会館 1階旧食堂 18時30分～21時40分
令和5年2月1日（水） ～2月6日（月）	第6回 後援会理事会 【議題】 1. 臨時総会開催に向けたスケジュール（案）について 2. 琉球大学医学部医学科後援会総会運営要項（案）について 3. 臨時総会次第（案）について 4. 臨時総会の開催案内（案）について	書面会議（メール）
令和5年2月15日（水） ～2月20日（月）	第7回 後援会理事会 【議題】 1. 臨時総会の資料（案）について 2. 臨時総会関係者手持ち資料について 3. 令和4年度の予算の見直しについて	書面会議（メール）
令和5年3月2日（木）	医学科後援会臨時総会 【議題】 1. 会長選出の承認及び役員選出の報告 2. 後援会の運営について	医学部臨床講義棟2階 18時30分～20時45分
令和5年3月2日（木）	第8回 後援会理事会 【議題】 1. 弁護士費用について 2. 第三者への情報提供について 3. 臨時総会欠席者への報告について 4. 令和5年度新入生向けの会費納入依頼及び定期総会の開催案内（現会員及び新入生）について	医学部臨床講義棟2階 大会議室 21時～22時20分
令和5年3月28日（火）	第9回 後援会理事会 【議題】 1. 琉球大学医学部医学科後援会会則の一部改正（案）について 2. 令和5年度役員について 3. 令和5年度事業計画及び予算（案）について 4. 令和5年度定期総会について 5. 横領事案への対応状況について	医学部がじゅまる会館 3階セミナー室 18時30分～20時30分

令和4年度 会計監査報告について

令和5年6月20日（火）監事2名による会計監査を行い、決算書をはじめとした会計書類を対象に、後援会の会計処理が適切に行われているか、事業の実施に問題がないかを確認しました。一部資料の記載について提案があり、後日、関係者に確認後、資料を修正し、再度、監事2名に資料を確認してもらいました。その結果、6月30日（金）後援会の会計監査について、適正に処理されていることを認める監査報告書の提出がありました。

その後、7月3日（月）～7月7日（金）の期間で、第2回後援会理事会を書面会議で開催し、令和4年度の会務、事業報告及び決算報告書等につきまして、承認となりましたことをご報告いたします。

令和4年度事業報告

1. 医師国家試験対策援助費
 - (1) 国試対策に係る模擬試験受験料に対する援助
2. 教育研究協力費
 - (1) CBT、OSCE受験料及び実施における協力費に対する援助
 - (2) CBT模擬試験受験料に対する援助
 - (3) 琉球大学解剖体慰霊祭での供花の費用
3. 福利厚生費
 - (1) 学生教育研究災害障害保険へ加入する費用（全新入生6年間分、学士編入生5年間分）
 - (2) 離島実習や臨床実習がある学年を対象にインフルエンザワクチン接種の援助
 - (3) 卒業アルバム購入費（後援会保管用）
4. 課外教育援助費
 - (1) 西日本医科学生総合体育大会の参加に要する参加費援助

※ 大会は中止となったが、西医体運営のために、すでに購入していたもの等があるため、総務分担金の返却はない。
5. 広報活動費 特になし
6. 管理費
 - (1) 後援会の事務処理に要する費用や人件費用等

令和4年度決算報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位円)

収入の部			
大科目	小科目	決算額	備考
(1)会費収入		8,310,000	
	(イ)正会員会費収入	8,310,000	正会員89人×90,000円、4人×75,000円
	(ロ)賛助会員会費収入	0	
	(ハ)特別会員会費収入	0	
(2)寄附金、その他の収入		2,521,360	寄附金：卒業生等(170,000円)、水曜会(医学科教授有志団体：2,000,000円)教職員(350,000円)その他の収入：受取利子(20円)、学研災保険料払い戻し(1,340円)
(3)返済金		1,100,000	横領被害額の一部返済金
当期収入合計		11,931,360	
(4)繰越金		△1,075,084	R3年度繰越金
収入合計		10,856,276	
支出の部			
(1)管理費		373,970	
	(イ)会議費	4,693	理事会飲み物代等
	(ロ)事務費	66,467	文房具(2,183円)、案内状等送料(60,984円)、証明書手数料(3,300円)
	(ハ)雑費	132,550	会計適正化支援相談業務に対する税理士への報酬
(二)書記給与		170,260	書記給与(4月分)
(2)事業費		4,446,241	
	(イ)医師国家試験対策援助費	2,617,240	模試援助費：冬メック(1,277,100円)、テコム(1,338,600円)、手数料(1,540円)
	(ロ)教育研究協力費	871,350	共用試験実施協力費(23,380円)、CBT受験料(120,000円)、振込手数料(770円)、解剖体慰霊祭花代(15,000円)、CBT模擬試験受験料(712,200円)
	(ハ)福利厚生費	765,620	学研災保険加入料(558,250円)、手数料(770円)、インフルワクチン接種代(189,600円)、卒業アルバム費(保管用1冊17,000円)
	(二)課外教育援助費	192,031	西医体総務分担金(150,000円)、競技分担金(40,491円)、手数料(1,540円)
	(ホ)広報活動費	0	
(3)予備費		0	
(4)使途不明金		2,900,000	銀行口座から引き出された使途不明金
当期支出合計		7,720,211	
(5)繰越金		3,136,065	R5年度繰越金
支出合計		10,856,276	

監査報告書

私たちは、琉球大学医学部医学科後援会の令和4年度の財務会計について監査を実施したところ、誠実に執行されており、また、計算書類は適正に処理されていることを認めます。

令和5年6月30日

監事 新垣 博己

監事 富田 恵

横領事案への対応状況について(ご報告)

令和5年6月30日現在

横領事案について、会員の皆様へ3月8日付けの文書、臨時総会(3月2日開催)及び定期総会(4月6日開催)で報告を行いました。定期総会では、外部有識者から再発防止策に関する提言を受け、会則の一部改正等所要の改正を審議し承認されました。令和5年5月16日(火)第1回後援会理事会が開催され、弁護士を選任について議決を行い、出席者の2/3の賛成をもって可決されました。現在、弁護士と相談しながら刑事告訴について進めているところです。また、事務職員からの返済についても対応を進めていきます。なお、本件は今後、裁判となる見込みのため、後援会だよりでの詳細な報告は控えさせていただきます。

再発防止策への取組状況について(ご報告)

① 現金及び通帳等の管理及び会費未納者情報の把握
原則、現金は取り扱わないこととする。通帳及びキャッシュカードの管理については、出納を担当する事務担当者とは別の者が管理し、領収書の適切な使用及び管理と会費未納者情報の把握(未収入金管理台帳の作成)を行っております。

② 監査業務の明確化

監査業務の会計監査マニュアルを作成し、2名いる監査の役割分担及び連携強化を行いました。また監査を担当する役員は、2名とも会員の中から会計業務の見識を有する者に委嘱しました。新たに作成した会計監査マニュアルに基づいて、令和5年6月20日(火)に琉球大学医学部内で幹事立ち合いのもと、監事2名による会計監査を実施しました。

③ 事務体制の見直し

琉球大学の協力を得つつ、事務担当者は長期間担当しないような体制を整備中です。また、これまで琉球大学医学部職員に委嘱されてきた監査は取り止め、事務を処理する幹事を委嘱しました。現在、新たに作成した業務マニュアルを基に、幹事が業務を遂行しております。

貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(資産の部)		(円)
1. 預金	銀行預金	6,514,149
	郵便預金	3,225,000
	中期国債ファンド	56,916
資産合計		9,796,065
(負債の部)		
1. 前受金	(第43期生等74名会費)	6,570,000
2. 前受金	(寄附金)	90,000
負債合計		6,660,000
差引正味財産		3,136,065
負債及び正味財産合計		9,796,065

※注記

1. 横領事案について
内部調査時点での被害推定額が34,386,427円である。

令和5年度予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年4月6日(木)
後援会定期総会承認

収入の部					
大科目	小科目	予算額 (a)	R4実績額 (b)	差異 (a-b)	備考
(1)会費収入		5,227,500	8,310,000	-3,082,500	
	(イ)正会員会費収入	5,227,500	8,310,000	-3,082,500	
	(ロ)賛助会員会費収入	0	0	0	
	(ハ)特別会員会費収入	0	0	0	
(2)寄附金、その他の収入		0	2,521,360	-2,521,360	
(3)返済金		0	1,100,000	-1,100,000	
	当期収入合計	5,227,500	11,931,360	-6,703,860	
(4)繰越金		3,136,065	-1,075,084	4,211,149	
	収入合計	8,363,565	10,856,276	-2,492,711	
支出の部					
(1)管理費					
	(イ)会議費	10,000	4,693	5,307	
	(ロ)事務費	140,000	66,467	73,533	
	(ハ)人件費	1,500,000	170,260	1,329,740	
	(ニ)弁護士費	500,000	0	500,000	
	(ホ)雑費	0	132,550	-132,550	
(2)事業費				0	
	(イ)医師国家試験対策援助費	2,700,000	2,617,240	82,760	
	(ロ)教育研究協力費	1,045,000	871,350	173,650	
	(ハ)福利厚生費	797,000	765,620	31,380	
	(ニ)課外教育援助費	1,450,000	192,031	1,257,969	
	(ホ)広報活動費	170,000	0	170,000	
(3)予備費		0	0	0	
(4)使途不明金			2,900,000		
	当期支出合計	8,312,000	7,720,211	591,789	
(5)繰越金		51,565	3,136,065	-3,084,500	
	支出合計	8,363,565	10,856,276	-2,492,711	

令和5年度事業計画

令和5年4月6日(木) 後援会定期総会承認

1. 医師国家試験対策援助費
 - (1) 国試対策に係る模擬試験受験料に対する援助
2. 教育研究協力費
 - (1) CBT、OSCE受験料に対する援助
 - (2) 琉球大学解剖体慰霊祭での供花の費用
 - (3) 海外臨床実習(提携校)の臨床実習参加者に対する海外渡航のための保険加入に要する一部援助
3. 福利厚生費
 - (1) 学生教育研究災害障害保険へ加入する費用(全新生入生、6年間分)
 - (2) 離島実習や臨床実習がある学年を対象にインフルエンザワクチン接種の援助
4. 課外教育援助費
 - (1) 西日本医科学生総合体育大会の参加に要する参加費援助
 - (2) 九州・山口医科学生体育大会の参加に要する参加費援助
 - (3) 九州・山口医科学生体育大会の理事である教員が関係会議に出席するための費用
5. 広報活動費
 - (1) 後援会だよりの発行に要する費用
6. 管理費
 - (1) 後援会の事務処理に要する費用や人件費用等



- 会長 中石直木 (36期生)
- 副会長 岳原吾一 (35・37期生)
- 理事 (1号) 大嶺啓 (40期生)
- 赤嶺守 (38期生)
- 本永浩之 (38期生)
- 野原博和 (38期生)
- 山城美奈子 (38期生)
- 上原秀猛 (38・40期生)
- 神山佳之 (39・41期生)
- 平良満洋 (39期生)
- 福嶺明 (37・39・42期生)
- 大嶺裕司 (39期生)
- 赤嶺彬 (40期生)
- 親泊次子 (41期生)
- 儀間洋一 (41期生)
- 饒平名知史 (42期生)
- 大城勝 (43期生)
- 呉屋良信 (43期生)
- 高橋健造 (医学科教員)
- 宮城力 (37期生)
- 筒井正人 (医学部長)
- 大屋祐輔 (病院長)
- 新垣博己 (41期生)
- 富川恵 (41期生)

- 幹事 安座間喜達 (学生支援係長)
- 参与(特別会員) 鈴木極 (学務課長)
- 参与(特別会員) 大野真治 (医学科教員)
- 参与(特別会員) 二宮賢司 (医学科教員)
- 監事 富川恵 (41期生)
- 顧問 大屋祐輔 (病院長)

お知らせ

学生生活に必要な情報は、琉球大学教務情報に掲載されております。

<https://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/>

